

2015年11月カンボジア日記

期間 平成27年11月3日～12日 第3回NPO法人アジア子供輝基金スタディーツアー

今年もNPO法人アジア子供輝基金のカンボジアスタディーツアーに行って参りました。



最初に・・・ご理解・ご支援・ご協力くださった皆様、今回も無事カンボジアの恵まれない
子供達や施設へのご支援、当団体へのご協力本当にありがとうございました。

こうして活動出来るのも全ては心優しい皆様のご理解・ご支援・ご協力のお蔭と
心より感謝しています。今回もご報告と言う事でカンボジア日記として記載させていただきます。

何分、文章力、人間力無きゆえ、ご理解出来にくい事や不可解な事もあろうかと思いますが
私のお見聞、感じたままを書かせて頂きます。決して悪気はございませんので
よろしくお願い致します。

11月2日、支援物資を車に積んで関空のホテル入り、3日の朝から車まで支援物資を
カートに積んで空港のロビーへ、そこで今回ご参加くださったメンバーと合流です。

今回も石垣島より米盛佳織理事、そして沖縄より我如古盛健氏、伊波恵美利氏、宮里澄子氏
そして今回カンボジアに産婦人科を建設寄贈された「愛燦々」の著者で書道家でもあります
西口賢治氏、今回で2回目の参加になります河野恭子氏、輝基金のスタッフの横内学氏

輝基金、倉橋文雄理事長と大西勝美副理事長とベトナムよりロイ氏と私の計11名でのスタディーツアーとなりました。関空からベトナムのホーチミン空港まで約5時間半そこから乗り継ぎで約1時間半でカンボジアのプノンペン空港へ到着しますが乗り継ぎの時間待ちやなんやかんやで結局ホテルに着くのは夜の7時位で一日仕事です。今回は我如古氏(けんさん)が車椅子での移動と言う事でプノンペンにSK0の子供達にサポートしてもらう為に数名呼んでおりました。

何とかバスに乗り込んでレストランで食事をしに行きましたが、けんさんと介護士の恵美利さんは皆さん食事してきて下さいとバスに残られた…その時、あ…気を使わせたなあと、ちょっと考えてしまった。その後数日間、色々と気づかせて頂くことが多かった。けんさん、恵美利さん今回、ご参加くださって本当にありがとうございました。お二人を見ていて私は本当に色々と人として学ぶ事がたくさんありました。心より感謝しています。

なぜカンボジア支援なのか…それは関わってしまったから…そしてそこには私達を必要としてくれる人々が居たから…そしてこの活動は私にとっては学びであり人生のバロメーターにもなっています。自己満足や偽善者と言われようが「やる！」

11年間関わらせて頂いて、いい時も悪い時もありました。お金が無くてカードローンでお金を引き出して行った時もありました。お金が無いのになにしとんやろ…と自分で自分を呆れた時もありましたが、その結果が「今」なのでしょう…

たくさんの方々にお世話になり、助けられ、そして「今」がある。感謝しかありません…

帰国後、フランスでテロが起きました。本当に悲しい事です。戦争は何も生みません…

そして何の罪もない子供達や人々の命が奪われて行く、一部の特権階級の人間に踊らされ利益が生まれるのはその人間とそれに群がる悪党と武器商人だという事に気づき銃や武器を自ら放棄し、何もしなければよいのだが、そう出来ない事情もあるようだ…

カンボジアでも約30年前に内戦があったように、なぜそれを教訓としないのだろうか…

あらためて独裁政治や思想の違いに心が痛みます。日本は平和です。世界の途上国から見て日本人は日本人に生まれて来ただけで成功者だそうです。私もそう思います。

どんな状況になっても日本の国では生きて行けます。後は自分の生き方次第だと私は思っています。これからも色んな出来事が起こると思いますが、全ては自分が引き寄せた事全ては自己責任です。乗り越えられない試練は起こらない、経験は全てお蔭様です。

そして支援活動やお志事を通じ、人様に必要として頂ける事に感謝して…



11月5日、首都プンペンにてカンボジアの歴史を学ぶ為キリングフィールドへ
 ここは収容された人々が虐殺された場所です。カンボジアにはこんな所が100箇所以上
 あるそうですが、ここは特に有名な場所です。現在では日本語で解説出来るレコーダーもあり
 その時の状況がよくわかるようになっています。私も毎年ここへ来て手をあわせています。
 戦争の愚かさがよく理解出来ます。そして建っている塔の中には頭蓋骨や人骨が祀られています。



そしてトゥールスレン21へ、こちらは
 政治犯の容疑などで拷問をされていた
 場所です。そのまま拷問に耐えられず
 死んでしまった人もいます。
 左上の写真はポルポトです。
 独裁者の思想で何の罪も無い人々が
 殺されて行った事実・・・
 その死んでいった人々の数は
 飢えや病気の人も含め300万人・・・



当時のカンボジアの人口は800万人で一時は500万人にまで減った事になります。

間違った思想により何の罪も無い人々が死んでいった・・・本当に悲しい現実です。

詳しくはインターネットなどで検索して頂ければと思います。なぜ支援が必要なのか？

戦後30年以上経っていますが、一部の人間だけがODAなどで私腹を肥やし、田舎の方で暮らしている人々はいまだ竹で作った高床式住居に屋根はヤシの葉っぱと言うような状態で

水道もガスも電気も来ていない所もあります。結局行き渡らないのです。政府関係者や

役人や軍人は他の国の援助でそれはもう贅沢三昧してます。街中にはランドクルーザーで

我が物顔で走ってますよ。なので日本のODA関係者はその事実を確認して頂きたい！

が、繋がってるんでしょね・・・なので私達は直接本当に困っている所に行って

自分達の目で見えて直接手渡しなのです。他のNPOやNGOが悪いとは言いませんが

少なくとも私達は支援金や寄付金には一切手を付けません、全て自腹でやってます。

支援金の中から活動費を頂いたりしません！旅費や交通費や活動費も全て自腹です。



午後からプノンペンにあるニュートリションセンターへ、こちらの施設にも毎年来ています。

この施設は身体障害や知的障害や先天性HIV(エイズ)の孤児のお世話をしている施設です。

国からの支援はあるものの運営費は2割程度しかお金は出ないそうです。残りの8割は

支援金に頼っているのが現状で施設の介護士の方々は月給が30ドル程度、遅れる月もあるとか・・・

約100名の子供達のお世話をされています。本当に頭がさがります・・・

そして我如古氏(けんさん)が沖縄の三線で民謡を披露で大いに盛り上がりました。

カンボジアの子供達の為にとご支援・募金して下さった皆様、本当にありがとうございました。

支援金と募金で現地調達させて頂いた物資を届けました。心より感謝致します。



その後、好例になりましたかき氷タイムで子供達も職員さんも大喜びでした。連れて行ったSKOの子供達もしっかりとお手伝いです。色々と思うことがあったようです。



同じ人間として生まれ、障害を持つ子供達、HIVで親が死に、HIVに感染している子供達・・・朝に施設の門の前に置き去りにされている子供もいるそうだ・・・なんともやるせない気持ちになる。HIVに感染してる子供はほとんどが20歳まで生きれないと言う、せめてこの施設にいる間は

幸せであって欲しいと心から願う、また来年も会いに来るね。



首都プノンペンも最終日と言う事で夜の街へ出てみた。そこで出会ったのは花売り娘、こんな小さな女の子でも親に働かされています。バラを買ってくれとなかなか引き下がらない終始笑顔で私は根負け(笑)それを見ていたホームレス親子が来て、旦那に逃げられ子供を2人抱えて住むところも追い出されたと言う・・・また買ってくれ攻撃を受けました。嘘か本当かは知りませんが子供達が可哀想なんでついスカーフを買うはめに・・・今日泊まる所が無いので、一緒に泊めてくれと言う、それはさすがに難しいので宿代を少し出してあげましたが、それも嘘か本当かは・・・どうでもええか・・・都会にもホームレスやストリートチルドレンがたくさんいます・・・これもまた現実・・・私は本当にちっぽけな人間です。が、少しでもお役に立てるならそれもまたよし！と言う事で・・・



カンボジアの観光地や都会だけ見ると
なんで支援なんかせなあかんねんと思う・・・
ここに来て思うことはやはり「木を見て森を見ず」
ではいけないなあと思う・・・いつもそんな気持ちに
させてくれるのは、やはりカンボジアの国・・・
人間は弱いものです。すぐその気持ちを忘れる(笑)
それをリセットさせてくれるのも、私にとっては
このカンボジアの国です・・・

11月6日、この日は移動日です。首都のプノンペンからバスで約5時間半ほどで
バタンバンと言う地区に向かいます。人口ではカンボジアでは第二の都市ですが
タイ国境に近い街で内戦中に難民としてタイに逃げていた人々が住みついたと言われています。



途中でお釈迦様の骨が祀られている仏舎利へ観光です。本物は世界に7箇所しか無いそうです。
本物のパワースポットですね。山を登って行くのは大変ですが、ご利益あると思いますよ(笑)



でたっ！得意の自分撮り！(笑)一面に渡り大平野が広がっています。景色はとっても綺麗で
とても癒されます。カンボジアに行かれた時には是非お立ち寄り下さい。その辺にいる
子供達に小遣いせびられますが(笑)お土産で3個1ドル攻撃にもご注意下さい。(笑)



バタンバンの街の入口では神様が迎えてくれます。何の神様かは知りませんが(笑)

夕方には無事に到着と言う事で、カンボジアは年中熱く雨季と乾季がありますが

11月は乾季のようですが、雨の日が多かったです。道路もガタガタになってました。

道路舗装技術もインフラ整備もまだまだですね・・・ちなみにカンボジアで日本が作った道路や橋はやはり素晴らしいですね。何の問題も無し、さすが技術の国日本です！ちなみに私が初めてカンボジアの地にやって来たのは2005年、その時の移動手段は船でした。



トゥンレーサップ湖を船で移動し、バタンバンへ

その当時から比べると道もかなり良くなっていますが、雨季になると道路が浸かってしまい

ガタガタになってしまうようです。地盤改良からやらないと同じことの繰り返しなんですけど・・・

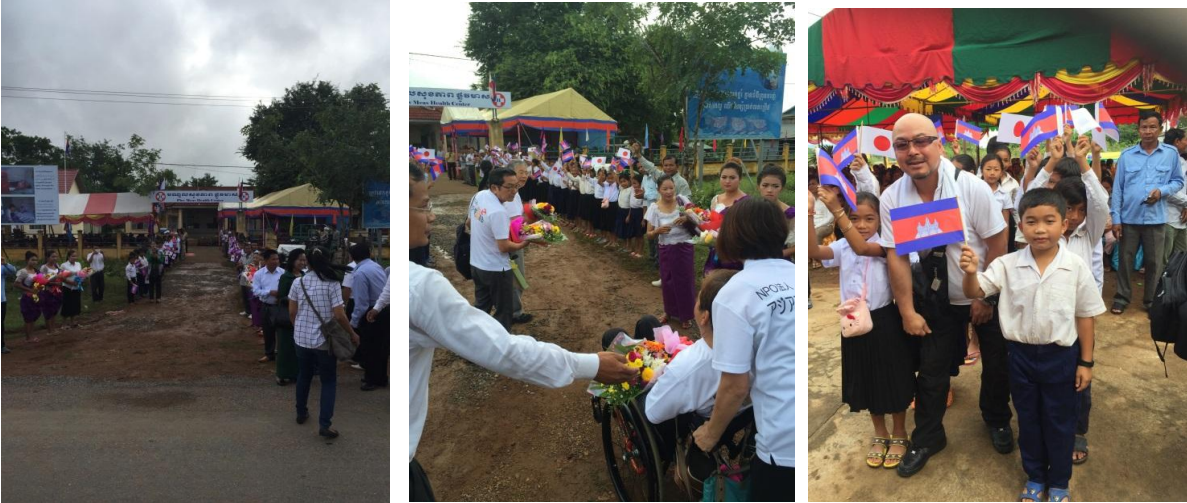
この日は移動日と言う事で書く事が少ないので、これまでの経緯について少し・・・



私がカンボジアの行くようになったきっかけは、現アジア子供輝基金、副理事長であります。大西勝美氏との出逢いでした。30歳の時に勉強の為、研修に行った時に知り合いました。それから何かと厚意にして頂き、別の団体の事務局長をされていて、そこからカンボジアの支援活動をされていました。私は大西氏を

尊敬していましたので、お誘いを受けて行く事にしました。その初めて行ったカンボジア・・・色んな意味で衝撃を受けました。自分はなんて恵まれているんだ・・・と今まで生かされて来た事に感謝の気持ちが湧きました。また、上記の写真に写っておられる丸坊主の男性、NPO法人アジア子供教育基金の代表2006年11月9日、カンボジアの地で交通事故にてお亡くなりになられた堀本崇氏です。彼は元々松下政経塾の出身で、カンボジア内戦後、国連からの要請でPKOにて選挙管理委員としてカンボジアに派遣され、その任務を全うされた後、カンボジアのあまりにも悲惨な状態に自分も何とかしなければとカンボジアの僧侶になられ、その後カンボジアの支援の為にNPOを立ち上げられて、小学校建設やインフラ整備の支援金を集めたりSKO孤児院の運営支援やNVTCノリア職業訓練学校を設立されていました。2006年11月8日、京都で大西副理事長と共に堀本氏と会っていました。一緒に食事をしてお別れの時に「一足お先にカンボジアで待ってますね。」と握手をした事が今でも忘れられません、そんな彼との約束というか・・・彼が亡くなって10年が経ちます・・・NPO法人アジア子供輝基金として今も彼の志は引き継がれています。私はたいした事は出来ませんが倉橋理事長と大西副理事長を筆頭に同じ志を持つ仲間と共に理事として参加させて頂いております。これからも行動こそ信実！継続して参加して行けるように日々精進致します。

11月7日、この日はついに輝・愛と平和産婦人科の開院式です。ご支援・ご協力くださった皆様、そして西口賢治先生、心より感謝致します。今回は2年掛りで西口氏が産婦人科をカンボジアに建てるべく、色んな方々のご協力の元、著書「愛燦々」を出版し、その売り上げ金の寄付金と心優しい皆様の支援金にて建設寄贈されました。開院式、誠にありがとうございます。



病院の入口から盛大にお出迎えをして頂きました。変なおっさんも混じってますが・・・(笑)



西口賢治氏と倉橋文雄理事長がご挨拶させて頂きました。その言葉の中に・・・

日本も戦後に色んな国から支援をして頂き、経済大国にまでなることが出来ました。

今度は日本がお返しをする番です。と、その言葉に・・・私見ですが、日本も戦後カンボジアと同じような状態にあったのだと思うと何か本当に感慨深いものがありました。日本人の先人やご先祖様が必死で頑張ってくれたからこそ今の日本があるのだと・・・色々思うことはありますが、日本人に生まれて来ただけで感謝だと改めて思いました。



そして西口賢治とアジア子供輝基金にフン・セン大統領のサイン入りの国家建設功労賞の表彰状が贈られました。全てはご理解・ご支援・ご協力くださった皆様のお蔭です。

本当にありがとうございました。心より感謝致します。その後、ここで赤ちゃんを産まれる妊婦さんに



マタニティーグッズのプレゼントです。開院式前ですがここで生まれた赤ちゃんです。完成時から既に機能しておりました。新しい命に感動です。これからのカンボジアの国の将来を担う子供達幸せに健康ですくすくと成長してくれる事を心から願っております。



恒例のテープカットならぬりボンカットの儀式です。理事の米盛氏はこれがやりたいらしい(笑)



開院です！と言いながら既に機能しておりましたが・・・(笑)この産婦人科で子供を産む費用は無料です。カンボジアの政府が運営をするとの事です。また、HIVに感染していてもこの産婦人科では安心して赤ちゃんを産むことができます。この式典の日の早朝にも新しい命が



誕生しておりました。本当に感動しました。
 今、田舎の方で求められているのはやはり
 病院や安心して子供を産める産婦人科などです。
 小学校や中学校などもまだ不足しているようですが
 近年までは生まれて5歳までに死んでしまう子供が
 12人に1人と言われていました。内戦後すぐの時には
 4人に1人だったそうで衛生面が上がって成長率が
 良くなったとは言え、日本では考えられないくらい
 亡くならないで済む命が亡くなっている訳で・・・
 本来ならカンボジアの国が力を入れてやって
 行かなければならない事ですが・・・



今年の4月に来た時にも記載させて頂きました。またまた私見でごめんなさい。新しく建てられた産婦人科の前にある他のNGO・ユニセフやワールドビジョンの立て看板です。この病院の先生に聞いたら支援は一切してもらって無いとの事です。看板立てるお金があるならその分支援したら？と言いたいところですが、よくよく考えるとボランティアの意識が芽生える事には貢献してるのかな？ただ広告宣伝費まで募金を使ってる所と一緒にされたくはありません・・・



去年から始めました。貧困家庭の学生支援、輝学生支援プロジェクトです。15人の子供達の学費などを支援させて頂いております。現地NGO団体BFDの要請により実現、家庭が貧しくて学校へ行けなかった子供達ですが、日本の心優しい皆様の支援金により現在では学校へ行ってしっかりと勉強しています。ご支援本当にありがとうございます。心より感謝致します。



日本の心優しい皆様から頂いた服も支援物資として届けさせて頂きました。本当にありがとうございます。子供達もそのご家族も服を頂いて大喜びでした。日本ではいらなくなった服でもカンボジアでは必要としている人々がたくさんいます。頂いた服も一度にたくさんは持って行けませんが徐々に持って行かせて頂きます。ご支援心より感謝致します。



そして、そんな貧困家庭を一件一件回られて無償で支援をしている尼様にも支援物資と支援金が贈られました。貧しくて食べて行けない人々のお世話や学校へ行くことが出来なかった人々に道徳的な指導や相談にのっておられます。本当に尊い活動だと思います。



そしてNVTCノリア職業訓練学校へ、こちらの施設は故、堀本崇氏が設立された施設です。貧しくて学校へ行けなかった女性や孤児だった女性に縫製技術を身につけてもらい自立が出来るようにと設立された施設です。現在では現地NGOのBFDの管理下の元小学校や中学校の制服を作ったりしてそれを売って生計を立ててはありますがとてもそれだけでは食べて行く事は出来ない状態です。このプロジェクトも堀本氏の意味を受け継ぎ継続されています。米盛佳織理事は石垣島でTシャツショップを経営しており、生地を持ち込んでこの施設に発注してカバンやズボンや服を作ってもらい、それをお店で販売してその売上金の一部を輝基金に寄付してくれています。NVTCの方々も仕事が出来て喜んでます。さすが米盛氏、支援金も貰ってみんな大喜びです。ご支援ご協力くださる皆様、本当にありがとうございます。この日の夕食は現地NGOのBFDと会食でしたが写真撮るの忘れました。とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。



11月8日、この日は待ちに待ったSKO孤児院へ訪問です。とか言いながらバタンバンに着いた日の夜にこそっと突撃訪問してたのですが(笑)今回の参加者の皆様の為にSKOの子供達がホワイトボードに歓迎の飾りをしてきてました。SKOの子供達ありがとう、嬉しかったです。



その後、子供達が歓迎の舞？創作ダンスを披露してくれましたが私は動画を撮るのに夢中で写真撮るの忘れました、すみません。子供達の歓迎の舞(ダンス)はFacebookにてUPさせていただきますのでよかったらご覧下さい。その後はお小遣いとお土産タイムで子供達も大喜びでした。この施設もカンボジアの国からの支援は一切ありません、個人の孤児院や寺院にあるような孤児院のほとんどはカンボジアの国からの支援はありません、全て他の国からの支援に頼っている状態です。こういう所にこそODAのお金を使って欲しいと心から思います。



加古川の優者達から頂いたおもちゃや文具も届きましたよ～(笑)子供達は早速楽しそうに
そのおもちゃで遊んでました。募金活動やフリーマーケットのご協力、本当にありがとうございました。



みんな久しぶりの再会にとっても嬉しそうです。
米盛理事もめっちゃ楽しそうです！(笑)みんなの
お母さんですから、怒る時はしっかりと怒ります。
女の子は特に米盛氏を慕ってます。自分の母親から
愛情がもらえなかった子供達・・・せめてここに来てる
時だけでも精一杯甘えて欲しいですね・・・

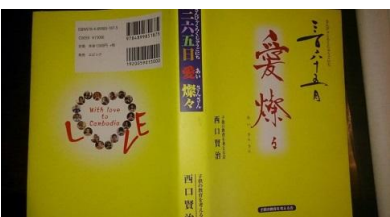


そしてやっぱり女の子はお洒落に興味深々です、お化粧品やマニキュアに夢中！（笑）

今回で2回目の参加の河野恭子氏、彼女は兵庫県加古川市で居酒屋を経営されています。カンボジアの子供達の為に、募金箱をお店に設置してくれたり、フリーマーケットの手伝いをしてくれています。本当に助かってます。ありがとうございます、今後共よろしくお願い致します。



そして沖縄から参加して下さった我如古盛健氏(けんさん)けんさんは筋ジストロフィーと言う難病に掛かりながらも自分の出来る社会貢献をしたいと今回参加して下さいました。沖縄の三線を弾き、民謡やオリジナル曲を歌って披露して下さいました。西口賢治先生と一緒に遊書ライブをして下さってSK0の子供達ひとりひとりに字を書いてプレゼントされてました。そして今回、産婦人科の寄贈の元になりました「愛燦々」の本も子供達へプレゼントされました。SK0の子供達の字も記載されてますので自分達を書いた字を見て子供達も大喜びでした。本当にありがとうございました。





全ては心優しい皆様のお蔭でこの施設、SKO孤児院は成り立っています。運営費用は現在はアジア子供輝基金の寄付金だけです。いつまで出来る事かはわかりません・・・また、いつまでも支援金だけに頼る事も・・・しかし、現状は頼るしか方法がありません、日本の心優しい皆様、皆様のご支援で運営されています。本当にありがとうございます。心より感謝致します。



たくさんの支援金、そして募金活動や
フリーマーケットのご協力してくださった
皆様、本当にありがとうございました。
心より感謝致します。皆様のお蔭で
SKOの子供達もご飯が食べれて
学校へ行って勉強が出来て
寝るところも雨風をしのげる所で



生活を送る事が出来ます。また、それだけではいけないと
言う事で、去年の4月に日本の皆様から頂いた服を売る
リサイクルショップをカンボジアで立ち上げましたが、やはり
物価の違いもあり、あまり売れませんでした。今年の四月に
ショップは閉店しました。また同じくSKOの子供達と共に
豚小屋を建てて、子豚を飼って育てて売っていますが
病気で子豚が死んでしまったりと利益が出るというほどでは
無いのが現状です。少しでも自分達の力で運営費を稼ぐ
努力はしていますが、なかなか難しい問題です...



親が居ながらこの孤児院に預けられている子もいれば
虐待からの保護や親に捨てられた子や人身売買からの
保護の子供もいます。親の都合でこの世に生まれ
親の都合で捨てられて、親の都合で呼び戻される・・・
そして労働力として働かされてその子の将来は
また変わってしまう・・・何度もそんな場に面しています。本当に
やり切れない気持ちになりますが、子供達には何の罪も無い！ 19



4月に来た時に新しくここに居た子供4人が
いなくなっていた、親に連れ戻されたようだ
私の元を離れようとしなかった子供達・・・
私の似顔絵を書いてくれた子供達・・・



元気でいてくれるのだろうか・・・親の元で幸せに
生活を送っている事を心から願う・・・
SKOでは恒例となりました。かき氷とたこ焼きタイム
最近では仕込みから子供達でやってくれます。
みんなで楽しい時間を過ごさせて頂きました。





お昼からはみんなで遊園地へ、プールもあります。ローラー
 ブレードやビリヤードもあります。みんなで楽しく遊びました。
 大西副理事長はみんなが遊びに行ってる間に夕食の
 買い出しに行ってカレー作り！子供達は大西氏の作った
 カレーが大好き！子供は正直です。施設長の嫁さんの
 子供がお母さんの作ったカレーより大西氏の作ったカレー
 の方が美味しいと言ってみんな大笑いだったとか！
 誰かが猿に噛まれなければ私もその場にいられたのに(笑)
 来年はお手伝いしますね～！





11月9日、朝からSKO孤児院へ、この日は一日子供達と関わります。私の子供達に会えるのも年に2回です。少しでも一緒にいて色々な話を子供達と一緒にしたい！子供達と一緒にホットケーキとたこ焼きを作りました。



沖縄よりご参加くださった宮里澄子さんと米盛理事がホットケーキを作ってくれました。

よほど美味しいのか速攻で無くなりました！タコ焼きは(正確にはタコが売って無いのでイカ焼き)

最近ソピワン君の独壇場です！妹のワンダーちゃんもよくお手伝いをしてくれます。

お蔭さまで私はあまりテキ屋のおっちゃんに変身する必要がなくなりました(笑)



大西副理事長は、結婚して子供を産んだ卒業生の子の赤ちゃんを抱いてデレデレでした。(笑)
そして日本から持って来たジェンガで大盛り上がり、スタッフ&カメラマンの横内学氏が
パソコンを持って来て過去のSKOの写真を子供達が食い入るように見てました！
そんな中で、ワンダーちゃんもしっかりと子豚に餌をあげていました。実は今年の四月に来た時に
SKOの中でも色々と問題がありまして、年頃の子供と言いますか、日本でもカンボジアでも
一緒なのですが、思春期には色々ありますね・・・反抗期と言いますか、言う事を聞かなかつたり
すべき事をしなかつたり、怒られてすねたり、愛情不足から来る問題もあつたりと関わっていれば
色々な問題に直面します。しかし、親と一緒に暮らせないから可哀想だけはいけません、
この施設は日本人の心優しい皆様の支援金にて運営されています。約束が守れない、言うことが
聞けないと言うのなら出て行ってもらうしかありません、ここに居れる事がどれだけありがたい事か
感謝出来ないようなら仕方のない事です。と言う事で怒られてからはみんなとってもいい子(笑)



小屋にラクガキしてます！(笑)いやいやここに
来られた皆様にサインを頂いております。
日焼けして薄くなった所は大西氏が手直して
おりました。記念に、そしてまたここに来て
頂けますように・・・午前中は少しゆっくり出来たので
子供達の夢を聞いてみました。みんな意外と
しっかりとした夢を持っています。お医者さんに
なりたい、学校の先生になりたい、外交官になって
世界を飛び回りたい、ITの会社を立ち上げたい！
じゃあ、勉強頑張らなあかな！(笑)



一人は日本に来て働きたいと言う子もいました。
その夢はいつか叶えてあげたい、それなら
日本語覚えなあかな、と言う事でしたが
その子は心労により落第してました。どうりで
元気が無かった訳だ、4月に怒られた時の
約束が気になって勉強が手に付かなかったそうだ
また、日本語を専攻出来るプンペン大学に
行くには、通訳の子に聞くと塾に行かなければ
学校の授業だけでは絶対無理との事で

なけなしの小遣いで塾代出してあげました。これで言い訳出来無い！(笑)今度は絶対に受かれよ！
倉橋理事長も、大学に行きたい人～！と尋ねると女の子の中にも数名手を挙げていました。
よっしゃ～！大学の費用は全部ワンが出したるぞ！と子供達と約束しておりました。さすがです。
そんな倉橋氏はレンタルビデオのTSUTAYAの創設者、現在は権利を譲られてますが、
買い取りショップチェーンのお宝市番館や万代書店の総帥でおられます。



お昼からは子供達を連れて市場でショッピングです。予算は一人10ドルですが、最近は少し
物価も上がってるのか、なかなかお目当てのものが買えなかったようです。日本人が付いて行くと
ボラれます。私はそばまでは行きますが見てるだけです。子供達が値段交渉してる姿を見るのも
また楽しい！ちなみにトラックの荷台に子供達がたくさん乗っていますがカンボジアでは合法です。
西口先生の横に乗っておられる女性、沖縄から来られた伊波恵美利さん、介護士をされてお
りけんさんの付き添いで控られていましたが、その献身ぶりに私は心から感動致しました。
本物の人間愛とはこう言うものなのかと・・・大変勉強になりました。本当にありがとうございました。



そして、SKOの卒業生も連れてみんなで夕食へ
子供達とも色々な話も出来てとても有意義な
時間を過ごさせて頂き、とても幸せな気持ちに
させて頂きました。ご支援・ご協力くださる皆様
のお蔭でこうして子供達と共に楽しい時間を過ごさせて
頂く事が出来ました。心より感謝致します。



11月10日、今日でSKO孤児院の子供達ともお別れです。朝ごはんを食べにHOCカフェに行きました。こちらのお店は同じバタンバンにあるリア孤児院が運営しています。岩田亮子さんと言う方が主体となられて募金活動や運営支援をされています。今回は日本に帰国中と言う事で、お逢い出来なくて残念でした。このお店ではリア孤児院の子供達が作ったお米や野菜などを中心に観光客の口にも合うようにと安心して食事出来るレストランです。



朝イチから西口先生と我如古けんさんと沖縄組は2006年に西口先生が建設寄贈された小学校へ





10年前に西口先生が建設寄贈された愛と平和チェムニ小学校、今も子供達に通っています。

生徒数は約170名だそうです。産婦人科だけでなく小学校まで…本当に凄いです。

10年前の小学校の式典にも参加させて頂いた時の記憶が甦りました。資金を集めるのに本当に苦労された事と思います。本物の愛なしでは出来ないこと…心より尊敬致します。



SKO孤児院の子供達ともこの日でお別れです。けんさんが三線を弾いて歌に合わせてみんな一緒に踊っています。手話も入る「大丈夫よ～」と…その時の様子は動画を撮ってましたので、またFacebookにてUPさせて頂きます。本当に楽しい時間を過ごさせて頂きました。一年に2回しか行くことが出来ませんが、少しでもたくさんの時間をこの施設の子供達と過ごし、少しでも多く愛情を注いであげたい、そんな活動が出来るのも全てはご理解・ご支援・ご協力くださる皆様のお蔭です。本当に心より感謝致します。



そして、お別れの時がやって来ました。

今回、初参加して下さった我如古

盛健氏(けんさん)海外で活動を

されるのは初めてと言う事で

カンボジアに来る事で自信が付いた

とおっしゃってました。これからも

色々な国に行って活動をされるとの事

そしてけんさんをサポートされている

伊波恵美利さん、本当に素晴らしい

方で、その献身的な姿に私は本当に

感動致しました。そして海外活動の

第一番目がこのカンボジアと言う事で

SKOにシールを貼られました。愛音楽

シールと言うそうで、アネラとはハワイ

の言葉で天使だそうです。音楽を通じ

心は天使のようと言う事で・・・

そしてみんな一人ずつ子供達へ

ご挨拶です。理事の米盛氏は子供達

とのお別れがよほど悲しいようで泣いて

いました。子供達もその姿を見て涙・・・

言葉は通じなくても感情や想いは

伝わるのだ、ご支援、ご協力くださった

皆様の想いも子供達には伝わっています。

私もお別れは本当に辛いです。

ここにいる子供達は親の愛情には

恵まれなかったかも知れません、

しかし、両親と一緒に暮らせても

ご飯が食べる事が出来なかったり、

貧しくて学校へ行く事も出来なかったり、

労働力として仕事だけやらされたりと 27



そんな家庭がたくさんある事も事実です。
当たり前の事なんかありません、
この施設も、支援が無くなれば閉鎖せざる
おえません、日本の心優しい皆様の
支援があるからこそ成り立っている事です。
ですので日本の皆様へ感謝して、今まで
以上に勉強も頑張ってください。それが
ご支援くださる皆様へのご恩返しです。

私は毎回キツめに言う、そうでないと泣きそうになるからだ・・・子供達の顔も見ない・・・
見たら勝手に涙が出てしまうからだ・・・最後のお別れの時は子供達のほとんどが泣いていた。
涙をこらえるのに必死だった。子供達、全員とハグをして本当のお別れ・・・誰も好きでこの孤児院に
いる訳では無い、しかし、無くては困るのも事実です。国を選んで生まれて来る事も、親を選んで
生まれてくる事も出来ません、起こっている事は起こっている事として受け入れて行かなければ
生きて行く事が出来無い子供達、日本のようには行かない、それがカンボジアの国です・・・



バタンバンからバスで約3時間半、シェムリアップに到着
SKOの子供達も今年から数名交代で連れて行っています。

社会見学とボランティア活動にも参加させています。

到着して夕食にSKO出身のリッティア君も合流です。彼は今
シェムリアップで一人暮らしでパソコンの修理のバイトをして
夜間の大学と日本語学校へ通っています。彼には私の
使っていたスマホをあげましたので、今はFacebookの



メッセージでやり取りしていますが、なかなかの

努力家の青年です。日本に来て働くのが彼の夢です。

彼がシェムリアップに来た経緯・・・母親が親戚が商売をするので
手伝えと連れ戻しに来ました。SKOにいた時も勉強家で

高校では常に1番か2番の成績で、これだけ頑張ってるから

大学に行かせて欲しいと嘆願してました。それがだ・・・

母親と一緒に住めると勘違いして出て行ってしまいました。

当初は何度も止めました。同じ悲しい思いをして欲しく無かった。



だが、母を想う愛情が上回ったのでしょうか、やはり血ですか・・・28



11月11日、朝の5時にホテルのロビーに集合してアンコールワットへ！薄暗い中をバスで移動してアンコールワットの朝日見学です。今回は見事に見ることが出来ました！ありがとうございます！



SKOの子供達も数人シェムリアップまで連れて来ていました。左写真は3姉妹のワンダー・リンナーリタです。そしてその隣がマレイにコサル、みんな大きくなりました。左の男の子、コサルは一番古株で5歳くらいの時から見てますが髭なんか伸ばしておっさんの真似してます(笑)
右の写真の右の女性は今回通訳してくれたヤンちゃんです。大変お世話になりました。いつもはソムニヤンちゃんにお願いしているのですが、現在日本の新潟の大学院で勉強中と言う事で、お友達のヤンちゃんとピーちゃんが通訳をしに来てくれていました。彼女達はカンボジアでも本当に優秀で、王立プノンペン大学の日本語講師をしたりしてたそうで、凄いですね。 30



それにしても凄い観光客の数でした。例年に比べ2倍近く居たような、今までと違うのは中国人と韓国人が減ってます、その分欧米系が増えてます。やっぱり経済と関係しているように思います。観光ガイドさんが言ってましたが中国人の観光客はとてもマナーが悪くて嫌われているとの事で

中国人出入り禁止のお店もあるそうです。反対に中国人相手のお店は料金を倍から3倍取るとの事
バイクなんかは食べもしないのに取れるだけ取って行って汚して帰るとの事ですので・・・
しかし、アンコールワットはいつ来ても素晴らしいです。ご来光が見れて良かった良かった！
本物のパワースポットです。カンボジアに来てこれを見れないのは非常に残念です。普段の
行いの悪い人は・・・(笑)また運が良ければ気球からも見る事が出来ます。今回たまたま

倉橋理事長とベトナムから来られているロイさんが見ることが出来ました。キャンセルが出て日の出を気球から拝めたとの事で超ラッキーでしたね。これも日頃の行い？(笑)



一旦ホテルに戻り、朝食を済ましてからアンコールトムへそこには色んな寺院があつて特に有名なのはバイヨン寺院とタ・プローム寺院です。バイヨン寺院ではゾウにのって寺院の廻りを観光する事が出来ます。一人20ドルやつたと思います。ゾウにパイナップルをあげると喜びます。それもすっかり売ってます。(笑)

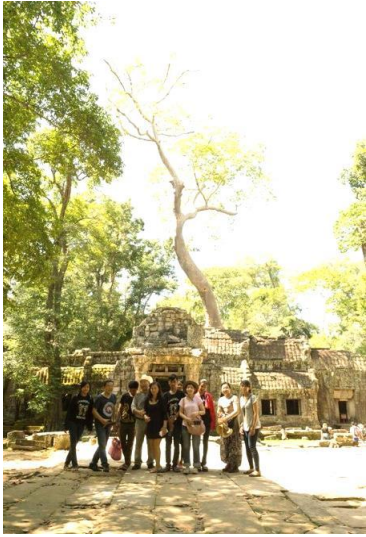


バイヨン寺院は観音様の顔がたくさん彫刻されている寺院です。特に有名なのが微笑みの観音様です。



私は何度も行ってるのでガイドさんに観光はお任せしてバスの中で待機しておりましたが、皆様楽しまれたようです。日中は本当に暑いですので、見に行かれる際には、帽子を被ってペットボトルの水と団扇か扇子をご持参下さい(笑)





こちらにも有名なタ・プローム寺院で映画トゥームレイダーの舞台となった所です。ガジュマルの木が寺院に巻きついています。取り除こうとすると寺院ごと崩れてしまうそうです。自然の力は凄いと改めて思います。あまりの広大さと迫りに圧倒されます。カンボジアに行かれる際にはこちらも是非お立ち寄り下さい。アンコールワットや寺院を見て回るのには25ドル必要となります。

一日パスポートとなっております。ただ残念なのはその権利をベトナムに売ってしまっている事・・・なんてアホなんやろ・・・自分の国の世界遺産の利権を売りますか？そんなところからしてカンボジアの政府は自分達さえよければそれでいいのが良く分かります。よく分からないONAは不要で税金の無駄遣いです。日本の政治家や官僚も少しはお金の使い方を考えて欲しいものですね！



船に乗ってトゥンレーサップ湖にある

水上生活の街へ訪問です。写真をもっとたくさん記載したいのですが、Facebookなどで

後日見て頂けるようにしておきますのでご興味のある方はご覧頂ければ幸いです。



船に乗って約1時間ほどで水上生活の街の寺院に到着です。今回は雨季の終わりの時期でしたが例年より湖の水位が低かった。寺院に着くと私達の事を覚えている子供もいるので続々と集まって来ます。

You know me?と笑顔の子供に聞くと、Yes!と返って来たのでちょっと嬉しい(笑)

大西氏が日本から持って来た飴を配る。始めはお行儀よく並んでくれるのだが配り出すと我こそは、に変わってしまい毎回ぐちゃぐちゃになるので今回は子供達を全員並ばせて座らせた。

そして日本の心優しい皆様から頂いた服をこちらが動いて渡しました。

今回はほとんど取り合いにならず任務完了、成功です!(笑)

これまでは並んではくれるのだが 35



自分には当たらないと思うのか手が伸びてきて取り合いになるので女性陣は怖がって子供達にあげるのを途中で断念していました。去年は私も取り合いになった時に手を子供に引っかかれて血が出た。それ程までに求められている服です。サイズが合わなくてもお構いなし帰って家族にあげるのでしょうね。

ここに来て思うことは、子供達の純粹さです。欲しいものは欲しいと必死になっている姿です。日本のあれ買って、これ買ってのダダをこねている姿とは違うくれるものが嬉しいと言う純粹さです。今の日本の子供達ははどうでしょうか？

後から来た子供達は残念ながら服をもらうことが出来ませんでした。ベトナムから参加されているロイさんが可哀想だからと自分のカバンの中にあった飴を配ってました。優しいですね。

また、子供達の笑顔に癒されて来ました。目をキラキラ輝かせながら一生懸命に生きている子供達、貧しくても精一杯今を生きているように私には見えました。

今回のスタディーツアーはアジア子供輝基金としては3度目のスタディーツアーでした。回を重ねるごとに色々思うことが

ありますが、こうして今年も無事スタディーツアーを終えることが出来てホッとしています。ご参加くださった皆様には本当に心より感謝致します。私がカンボジアの国に来るようになって11年の月日経ちました・・・2005年に初めてカンボジアに来てから20回目のカンボジアでした。お金の事はあまり言いたくありませんが、単純に旅費1回20万円として600万円掛かった事になります。 36

大西副理事長は、それまでに多額の寄付や、産婦人科を建設寄贈されてますので数千万円です。倉橋理事長も過去に中学校を2校、建設寄贈されています。私なんかは足元にも及びませんが、誤解の無いようにお伝えしておかないといけないと思ひまして・・・当団体は各自、自腹で活動しています。募金や支援金は全てカンボジアの恵まれない人々や子供達や孤児院の運営費や障害者施設への支援金となっています。スタディーツアーの参加費の中に支援物資を購入する為の資金も一部含まれておりますが、その分も全て寄付しています。頂いた募金や支援金はドルに変えます。変える時に足らずが出たお金も自腹で足して揃えます。

と、言うような志の上でしている非営利団体がアジア子供輝基金です。頂いたお金には一切手を付けません、他のNPOやNGOは自社ビルや事務所経費・職員の給料や活動費TVコマーシャルや新聞の広告宣伝費まで全て支援金や募金で賄っています。給料の平均年収が700万円ぐらいの所のNGOもあります。誰の為の善意のお金なのでしょうか？色んな捉え方があるとは思いますが、そんなところとは違うとだけお伝えさせていただきます。

いつまで続けて行けるかは神のみぞ知るでわかりませんが、こうして私達と共に同じ志を持ち必要とされているからする、そんな仲間や同志がいる事に心から感謝致します。そして、募金活動や募金をして下さった皆様、支援活動やフリーマーケットにご協力下さった皆様、こうして活動出来るのも、全てはご理解・ご支援・ご協力下さった皆様のお蔭です。心より感謝致します。

カンボジア日記、今年もこの言葉で締めたいと思います。「人生自体が気狂いじみているとしたら一体本当の狂気とはなんだ・・・本当の狂気とは、夢に溺れて現実を見れないのも狂気かも知れぬ現実のみを追って夢を見れないのも狂気だ！しかし、一番憎むべき狂気とは・・・あるがままの人生に折り合いを付けてあるべき姿の為に戦わないことだ！」ドン・キホーテの言葉より私達は己自身と戦い続けます！あるべき姿の為に・・・人様に必要として頂ける事に感謝して・・・

